

2021 年度日本農村生活学会大会

(第 69 回大会)

プ ロ グ ラ ム

期 日：令和 3 年 10 月 9 日 (土) 13:00 ~ 17:00
10 月 10 日 (日) 9:30 ~ 15:10

会 場 (オンラインのホスト)：茨城県つくば市

★ シンポジウム 10 月 9 日 (土) 13:15~16:00

「生産者・消費者・住民の力をつなげて作る農業のかたち」

座長：原 珠里 (東京農業大学)

報告者：

唐崎 卓也 (農研機構農村工学研究部門)

根本 隆 (つくば市経済部農業政策課)・納口 るり子 (筑波大学)

伊藤 文弥 (NPO法人 つくばアグリチャレンジごきげんファーム)

川上 和浩 (川上農園)

★ ラウンドテーブル 10 月 10 日 (日) 13:00~15:00

「生産者・消費者・住民の力をつなげて作る農業のかたち：続編」

コーディネーター：小船 久美 (茨城県農業総合センター)

報告者：飯野信行・恵理 (つくば飯野農園)

：川島 拓 (笠間市地域おこし協力隊)

コメンテーター：西山 未真 (宇都宮大学)

：澤野 久美 (農研機構本部NARO開発戦略センター)

主 催：日本農村生活学会

【 第 1 日 10 月 9 日 (土) 】

※zoom 接続開始 12:45

参加される方は、**zoom** のアプリケーションをお使いのパソコン、スマートフォン、iPad 等のタブレット端末にインストールの上、**zoom** を起動後、予め参加者にお知らせした「ミーティング ID」と「パスコード」を入力してください(1 日目、2 日目とも共通)。

12:45 の **zoom** 接続開始後、会場にオンラインで「入室」することができます。参加申込状況確認のため、お申込みされたご氏名を **zoom** の画面に表示ください。マイクは原則オフ、画面はオフでも可とします。

zoom アプリのインストール、使い方については、以下の動画をご参照ください。

- 【初心者用動画】パソコンで ZOOM を使う方法・基本的な使い方を解説！PC 版ズーム

<https://www.youtube.com/watch?v=G8x0d88czPs>

- ZOOM の基本的な使い方！スマホでもパソコンでもズームアプリでビデオミーティング！iPhone・タブレットでも使えます！！

<https://www.youtube.com/watch?v=uJFtwSJGLYQ>

(1) 開会挨拶 13:00 ~ 13:10

学会長挨拶 : 安倍 澄子

大会委員長挨拶 : 納口 るり子

シンポジウム準備 (13:10~13:15)

(2) シンポジウム 13:15 ~ 15:45

テーマ「生産者・消費者・住民の力をつなげて作る農業のかたち」

座長：原 珠里（東京農業大学）

2021 年度の日本農村生活学会シンポジウムが茨城県つくば市で開催されるにあたり、シンポジウムテーマを「生産者・消費者・住民の力をつなげて作る農業のかたち」に設定しました。

筑波学園都市建設とともに都市住民が移住し、旧住民・新住民、そしてつくば市で生まれ育った住民が、50 年の年月をかけて、現在のつくば市を作り上げてきました。また、2005 年のつくばエクスプレス開業により、住民の利便性が高まり、東京との距離が近くなりました。

一方でつくば市は、県内で第 2 位となる 10,800ha の広い農地資源を有しており、米・野菜・果実など多様な農産物が生産されています。また、認定農業者や認定新規就農者が増加しており、多様で活力のある農業の担い手が存在しています。つくば市は、豊富な農産物が生産される一方で、多くの新しい市民が居住するまちでもあり、農産物の生産地と消費地が共存するという特徴を持っています。

また、つくば市では 2020 年 12 月に「第 2 次つくば市農業基本計画」を策定しましたが、そこで目指すべき農業のすがたを「多様な力がつながり実現する持続可能な農業」としています。このような農業の方向性は、つくば市だけでなく、日本の多くの市町村で参考にするべき目標であり、コロナ禍のもとで再評価されている、ローカルフードシステムの考え方にも近いものでもあります。

そこで今季大会シンポジウムでは、そうした農業の具体的な姿として、CSA、農福連携、新規参入者による直売型農業などの事例や、こうした農業を支援する市町村の計画づくりと支援施策について報告いただき、議論を行います。ラウンドテーブルも、シンポジウムに連続した内容とします。CSA を実践する農家、筑波大学の農業サークルの OB で、卒業後、笠間市で第三者継承による農業参入を計画している若者など、多様な形で「つながる農業」を実践している方に活動の内容をご紹介いただき、参加者からの質問や報告者相互の議論を自由に行っていただきます。

座長解題	13:15～13:30
パネリスト報告：	
(1) 農研機構農村工学研究部門 唐崎 卓也 「日本における Community Supported Agriculture (CSA) の展開」	13:30～13:50
(2) つくば市経済部農業政策課 根本 隆・筑波大学 納口 るり子 「つくば市がめざす農業の姿と多様な農業者の支援」	13:50～14:10
(3) NPO 法人 つくばアグリチャレンジごきげんファーム 代表 伊藤 文弥 「障害のある人たちがごきげんに暮らせる地域を農業で創る」	14:10～14:30
(4) 川上農園 川上 和浩 「新規就農者が考える”お抱え農家”の在り方」	14:30～14:50
休憩	14:50～15:00
質疑応答とディスカッション	15:00～16:00
(3) 2021 年度学会賞についての報告	16:00～16:10
(4) 学会総会	16:10～17:00

*総会終了後、翌日の一般報告報告者の接続テストを行います。報告者のうち総会に参加されている方はお残りください。総会に参加されていない方は **17:00** 頃から「入室」してください。

【 第2日 10月10日(日) 】

※zoom 接続開始 8:45

第1日に参加された方は、同じ ID とパスコードで「入室」してください。第2日から参加される方は、**zoom** のアプリケーションをお使いのパソコン、スマートフォン、iPad 等のタブレット端末にインストールの上、予め参加者にお知らせした「ミーティング ID」と「パスコード」を入力し、「入室」してください。「入室」後、参加申込状況確認のため、お申込みされたご氏名を画面に表示ください。

マイクは原則オフ、画面はオフでも可とします。

(1) 一般報告 (9:30 ~ 11:50) 1人20分 (報告15分 質疑応答5分)

第1部 (9:30 ~ 10:30)

座長 寺野 梨香 (東京農業大学)

① 「新しい農村政策」をめぐって ー生活視点からの論点整理ー

千葉農村地域文化研究所 飯塚 里恵子

② 6次産業化を通じた農村生活の活性化に関する理論的検討

—多角化がもたらす新たな経営課題—

高千穂大学経営学部 木佐森 健司

③ ハンディクラフトにおける地域資源としてのバスケットリー

—小笠原タコノハ細工の継承をめぐる—

東京農業大学大学院 ○出口 麻紀子

東京農業大学 吉野 馨子

第2部 (10:30 ~ 11:50)

座長 小内 純子 (札幌学院大学)

④ 農業女子プロジェクトメンバーにとってのソーシャル・メディア利用の意義

東京農業大学大学院 ○稲垣 京子

東京農業大学 原 珠里

⑤ 新規就農者育成を核とした広域合併農協と関係市町村の連携

—青森県東青地域を事例として—

酪農学園大学農食環境学群循環農学類 正木 卓

座長 中村 貴子 (京都府立大)

⑥ CSAの課題とこれからの多様な可能性

茨城大学 今村 直美

⑦ 有機朝市における生産者と消費者の連携 —豊橋有機農業の会を事例として—

東京農業大学大学院 ○成澤 誠史

東京農業大学 吉野 馨子

(2) 休憩 11:50 ~ 13:00

(3) ラウンドテーブル 13:00 ~ 15:00

「生産者・消費者・住民の力をつなげて作る農業のかたち：続編」

(1) 座長挨拶 茨城県農業総合センター 小船 久美 13:00~13:10

(2) 事例報告1 つくば飯野農園 飯野 信行・恵理 (CSA 実践農家)

「地域とつながる農業を目指して~人と人がリアルにつながるCSA~」 13:10~13:30

(3) 事例報告2 笠間市地域おこし協力隊 川島 拓 (学生時代に筑波大学「のうりん村」で活動)

「第三者継承でつなぐ地域の農業」 13:30~13:50

休憩 13:50~14:00

質疑応答と議論 14:00~15:00

コメンテーター 宇都宮大学 西山 未真

農研機構本部 NARO 開発戦略センター 澤野 久美

(4) 閉会挨拶 15:00 ~ 15:10

☆☆

大会参加費について

日本農村生活学会正会員	2,000 円
非 会 員	2,000 円
学生会員および非会・員の学生	無料

(社会人学生は、正会員または非会員としてお申込みください)

☆☆

<大会参加申し込み方法>

★参加申込：参加される方は、**10月4日(月)18時**までに
Peatix (<https://nouson2021.peatix.com>) にてお申込みください。
上記HPの ボタンからお申込みできます。

- 記載事項：①ご氏名：
②ご所属：
③会員種別： 正会員・学生会員・非会員・非会員の学生
④参加日程： 全日程・第1日のみ・第2日のみ
⑤連絡先：メールアドレス：
電話番号：
⑥備考 (大会事務局への連絡など)：

★大会へのご参加には、Zoom (プログラムの2ページ目を参照ください)
を利用できる環境が必要です。各自でご準備ください。

★今大会の参加申し込みと参加費お支払いに使用する Peatix (ピーティックス) は、Peatix 社によって運営されているイベント管理システムです。大会参加申し込みから、大会参加費のお振込みまで、上記 URL のホームページ上で済ますことができます。大会参加費のお支払いには、クレジットカード・コンビニ・ATM 払いができます。コンビニ・ATM 払いの場合、振込手数料がかかります。その場合、おそれいりますが振込手数料をご負担ください。

★Peatix での大会参加申し込みにあたっては、システムにログインするためのアカウントを取得 (新規登録) する必要があります。Peatix のホームページの画面右上にある「新規登録」から、メールアドレスやパスワードなどを設定いただきます。なお、Facebook、Twitter、Google、Apple のいずれかのアカウントをお持ちの方は、それらを使ってログインすることもできます。

申し込み方法等でご不明な点がある場合、次ページの大会問い合わせ先にご連絡下さい。

★大会参加費のお支払い後、やむをえないご事情により不参加の場合も原則として返金
はいたしません。ご了承いただければありがたいです。

★第1日のシンポジウムのみ、第2日のラウンドテーブルのみご参加の場合でも、会費
を頂きます（学生は無料）。学会活動ご支援にご理解とご協力をよろしくお願い申し上
げます。

<大会に関する問い合わせ先>

第69回大会委員会事務局 唐崎 卓也（農研機構）
E-mail rsj2021@csa-net.sakura.ne.jp

第69回大会委員長 納口 るり子（筑波大学）
E-mail nohguchi.ruriko.fw@u.tsukuba.ac.jp